

建設労働者が組合超えて 1000人

3月16日埼玉会館大ホールで「賃金・単価引き上げ、法定福利費の確実な確保をめざす」埼玉集会が行われ村岡も参加しました。党派を超えて、国会議員・県会議員65人が参加（右写真）。建設埼玉・埼玉土建など1000人の建設労働者が集まり、「公契約条例」制定など共同を誓い合いました。



建設業者の地位向上のために全力!!



2月6日、埼玉土建一般労働組合が県と懇談し、村岡も同席しました。「国や建設団体が推進する標準見積書について元請けにも下請けにも使用の徹底を指導してほしい」「法定福利費の確保を発注条件に入れるべきではないか」「国の資格取得費用助成は一人親方が除外されている」など切実な要望が出されました（左写真）。



スナップ ショット



2月20日「守ろう憲法とくらし、ストップ暴走政治」川口地域総行動に参加



3月14日県立川口北高校の卒業式に出席しました



3月2日、全国木造建設事業協会の建設部会長と、木造仮設住宅について懇談しました



県議員 村岡まさつぐ
プロフィール：党県議団幹事長、県土都市整備委員、危機管理・大規模災害対策特別委員、議会運営委員、一級建築士、埼玉県応急危険度判定士、東洋大学工学部卒、川口市議2期、2011年より埼玉県議会議員

◆県政と市政、力をあわせて



市議会議員 金子のぶお 市議会議員 板橋ひろみ 市議会議員 松本さちえ 市議会議員 今井はつえ 市議会議員 矢野ゆき子 市議会議員 金子ゆきひろ 党市生活相談室長 井上 薫 党市自治政策責任者 平川みちや

埼玉県議会議員

村岡まさつぐの 県政だより

2月定例会特集号 発行 2015年3月

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県庁内
TEL048 (824) 3413 FAX048 (825) 1048
<http://jcp-saitama-pref.jp/>



太陽光発電の下で農業を行なうソーラーシェアリング施設（千葉県匝瑳市）視察

大雪被害 農家再建



7月には全てのハウス再建

予算特別委員会の質問に、知事答弁

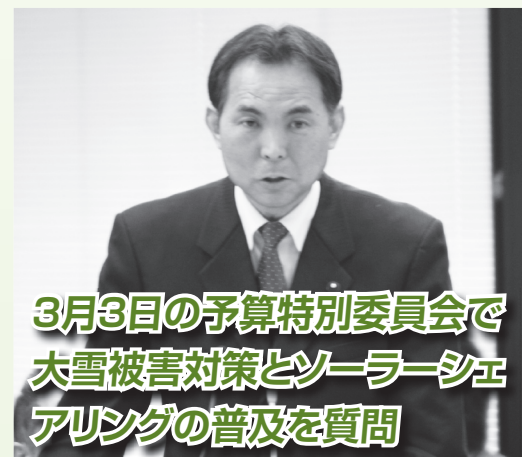
県全体の再建完了率は60%

被災農家に補助金届かず

昨年2月の大雪で深谷市を中心に農業用ビニールハウスなどが多数倒壊しました。

村岡 ハウス再建のための補助金制度はつくられましたが、深谷市ではまだ再建は半分、補助金が農家には一円も支払われていないのは問題です。

知事 年度内には総予算の約半額（109億円）を市町村に交付し、7月までには全てのハウスを再建したい。農家への支払いも早期に完了します。



3月3日の予算特別委員会で大雪被害対策とソーラーシェアリングの普及を質問

障害者と保護者の願いを受けて――

村岡

知事

県営住宅に 障害者グループホームを モデル事例の可能性 しっかり検討する

3月10日の予算特別委員会場で私は障害者の入所施設やグループホーム建設について取り上げました。

村岡 「私が死んでも、障害を持った娘が幸せに生きてほしい」との保護者の声に応えて入所施設建設を求めます。

知事 埼玉県は障害者が増えている県。今後も必要数を確保していきます。



また、障害者施設整備には土地確保が問題だとして質問しました。

村岡 県営住宅にグループホーム建設を促進するために、まずモデル事例をつくってほしい

知事 県営住宅を提供することは難しいことはありません。(モデル事例)しっかり可能性を検討します。

村岡 都市再生機構(UR)賃貸は8000戸以上空きがある。グループホームを作れるよう支援すべきです。

知事 URにこの議論伝え、(村岡に)報告します。



戸田市営住宅内「ケアホーム下笹目」を視察

2015
予算

県民不在 自民党と知事の権力争い

オール与党で進める冷たい県政

自民党は予算特別委員会に一般会計予算の修正案を提出しました。利根川堤防にメガソーラーを建設する予算を、予備費にまわすという修正で、それ自体は賛成できますが、修正箇所がこれだけでは

納得できません。

修正案以外は、ほとんど自・公・民・刷オール与党で議案は成立です。

花園IC周辺
大規模開発



ダム次々再開



イオン系企業に
大盤振る舞い



障害者の医療
費無料制度に
年齢制限

請願件名	自民	民主	公明	刷新	共産	審査結果
集団的自衛権行使容認の撤回求める請願	×	○	×	×	●	不採択
消費税の10%への増税の中止もとめる請願	×	○	×	×	●	不採択
原発に関する埼玉県民投票を求める請願	×	○	×	×	●	不採択

○採択を主張 ×不採択を主張

民・共・社
―県議さんが
あったくれた

自民
―県議ではなく
県職員が対応？

公明
―あってく
れなかった



お母さんたちの願いに耳を傾ける会派は？

定例会開会の2月19日、ベビーカーであかちゃんをつれたお母さんたちが県議会へやってきました。「(4年前に廃止になった)幼稚園の保護者の負担軽減のための補助を復活して下さい」「子ども医療費18才まで無料に」「認可保育所をつくって下さい」この3本の請願を提出にきたのです。

さて、願いに応えた会派は…?

請願件名	自民	民主	公明	刷新	共産	審査結果
子ども医療費を18歳まで無料にする請願	×	×	×	×	●	不採択
認可保育所を増やす請願	×	○	×	×	●	不採択
幼稚園の父母への助成復活を求める請願	継続	継続	継続	継続	●	継続

○採択を主張 ×不採択を主張

継続となった請願は4月に廃案となります

医療的ケアの必要な重症障害児の ための予算が20倍に

「24時間365日子どもの介護で外出もできず、夜続けて眠ることもできません。子どもたちの預かり施設を作して下さい。」
党県議団は重症の障害児のおかあさんからいただいた手紙を、昨年9月定例会の本会議で取り上げ施設整備を求めました。
そして今年2月、在宅超重症心身障害児の家族に対するレスパイトケア事業予算

今年度297万円が新年度5626万円と20倍に増えました。

ショートステイ・デイサービスなど、施設の整備を進めています。

